

I 次のA・Bの文を読み、下記の問いに答えなさい。

A. 1914年、サラエヴォ事件から勃発した第一次世界大戦^(ア)は、ヨーロッパだけでなくイスラーム世界やアフリカ・アジアの各国にも戦火が及んだ。この大戦に参加した各国では総力戦の体制がつくられ、大戦前の政治や社会構造を大きく変容させた。大戦中、ロシアにおいては^(イ)2度の革命がおこり^(ロ)、戦後アメリカ合衆国の世界的な地位と役割が変化し^(ハ)、世界経済をリードした。

1919年1月、パリ講和会議が開かれ、6月、ヴェルサイユ条約^(ホ)が調印された。ヴェルサイユ条約では(カ)の提案した国際連盟の設置が決まり、世界平和をめざす国際秩序はヴェルサイユ体制と呼ばれた。また1921年には、(キ)の提唱でワシントン会議^(ケ)が開かれ、アジア・太平洋地域ではワシントン体制と呼ばれる新しい秩序が形成された。

問 1. 下線部(ア)について述べた文として、正しいものを次の1～4から選び、その番号をマークしなさい。

1. 日本は日米同盟を理由にドイツに宣戦し、中国内のドイツの租借地である青島や太平洋上のドイツ領南洋諸島を占領した。
2. 多くの植民地の人々も参戦し、特にイギリスは約150万人のインド兵を動員し、フランスはアルジェリア・モロッコから人々を動員した。
3. 列強の同盟関係や協商関係を通してドイツ・アメリカなどの同盟国側とロシア・イギリス・フランスなどの協商国側が戦った。
4. 戦争は、ドイツ軍の中立国スイスへの侵入で始まり、ドイツ軍は北フランスに侵攻した。

問 2. 下線部(イ)について述べた文として、正しいものを次の1～4から選び、その番号をマークしなさい。

1. バルカン半島では、勢力拡大をめぐるドイツとオーストリア・ハンガリーの対立が深まっていた。
2. 2度のバルカン戦争の結果、オスマン帝国はヨーロッパにおける領土の一部を取り戻した。
3. ドイツは、第2次バルカン戦争でオーストリア・ハンガリー・イタリアとバルカン同盟を締結した。
4. 列強間の対立が深まり、政治が不安定になるなかで、1864年社会主義政党の第3インターナショナルが誕生した。

問 3. 下線部(ウ)について述べた文として、正しいものを次の1～4から選び、その番号をマークしなさい。

1. 1917年にロマノフ朝が崩壊し、自由主義諸党派の議員を中心に臨時政府が樹立された。
2. 1917年3月、労働者と兵士は首都モスクワでソ連邦を誕生させて『平和に関する布告』を採択した。
3. レーニンは社会主義を成功させるため、コミンフォルムを創設して世界革命の推進を目指した。
4. ボルシェビキの指導者ケレンスキーは四月テーゼを示し、ボルシェビキの勢力拡大を図った。

問 4. 下線部(エ)について述べた文として、正しいものを次の1～4から選び、その番号をマークしなさい。

1. 国内市場を低関税政策によって開放したため、世界の富が集中した。
2. 戦後のヨーロッパの政治と経済を安定させ、ファシズムの台頭を阻止した。
3. 債務国から債権国になり、国際金融市場の中心になった。
4. 国際連盟へ加入し、軍縮や不戦条約などの国際協調を推進した。

問 5. 下線部(オ)について述べた文として、正しいものを次の1～4から選び、その番号をマークしなさい。

1. ドイツをはじめオーストリア・ハンガリー・ブルガリアなどとの講和条約であった。
2. ロシア革命の社会主義に対抗する十四カ条からなる講和条約であった。
3. ドイツからフランスにアルザス・ロレーヌを返還させ、ドイツに巨額の賠償金の支払いを命じた。
4. ポーランド・エストニア・ラトヴィア・リトアニアなどの独立も認めた。

問 6. 空欄(カ)と空欄(キ)に適する人物の組み合わせとして、正しいものを次の1～4から選び、その番号をマークしなさい。なお、下記の選択肢は空欄(カ)―空欄(キ)の順になっている。

1. ウィルソン ―― クレマンソー
2. クレマンソー ―― ウィルソン
3. ハーディング ―― ウィルソン
4. ウィルソン ―― ハーディング

問 7. 下線部(ク)について述べた文として、正しいものを次の1～4から選び、その番号をマークしなさい。

1. アメリカ合衆国・イギリス・フランス・ロシア・日本の5ヶ国が参加した。
2. 5 大国間で主力艦の保有トン数と保有比率を定めた海軍軍備制限条約が結ばれた。
3. 国際紛争について、武力の不行使を約束する不戦条約が参加国の間で結ばれた。
4. 太平洋諸島の現状維持を求めた四カ国条約が結ばれ、1902 年に締結された日仏同盟は解消された。

体育進学センター

B. 第二次世界大戦は、アメリカ合衆国とソ連が連合国^(ケ)の勝利に大きな役割を果たし、新しい国際体制の模索が始まった。大戦の反省から戦後世界の平和や繁栄を実現するために様々な国際機関が設立された^(コ)。しかし、両国の間には冷戦と呼ばれる緊張状態が発生し^(サ)、世界は東西両陣営に分裂した。

西側諸国ではアメリカ合衆国を中心に自由貿易体制が樹立され^(シ)、東ヨーロッパではソ連の後押しを受けた共産党主導の改革が実行された。一方、植民地状態におかれたアジア・アフリカ諸国では独立に向けた動きが活発になった^(ス)。

問 8. 下線部(ケ)について述べた文として、正しいものを次の1～4から選び、その番号をマークしなさい。

1. 1943年、ローズヴェルト・チャーチル・毛沢東は対日処理方針を定めたカイロ宣言を発表した。
2. ローズヴェルト・チャーチル・スターリンのテヘラン会談では、北フランス上陸作戦が協議された。
3. 1943年2月、米・英・ソの3首脳はヤルタ協定を結び、ドイツの敗戦処理について大綱を定めた。
4. ローズヴェルト・アトリー・スターリンは、日本の降伏を求めるポツダム宣言を発表した。

問 9. 下線部(コ)について述べた文として、正しいものを次の1～4から選び、その番号をマークしなさい。

1. 1945年、サンフランシスコ会議で大西洋憲章が採択され、国際連合が発足した。
2. 国際連合では、国際平和を維持する役割として、米・英・仏・ソ・中の5大国が拒否権を持つ安全保障理事会を設置した。
3. 国際連合には事務局の下に社会経済理事会が設置され、ユネスコ・国際労働機関・世界保健機関などと連携して多様な活動を行った。
4. 国際連合には、敗戦国の戦後処理として国際軍事裁判所がニュルンベルグに設置された。

問10. 下線部(サ)に関して、他の3つと性格が異なる条約機構を次の1～4から選び、その番号をマークしなさい。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 北大西洋条約機構 | 2. 東南アジア条約機構 |
| 3. ワルシャワ条約機構 | 4. バグダード条約機構 |

問11. 下線部(シ)について述べた文として、正しいものを次の1～4から選び、その番号をマークしなさい。

1. 貿易の障壁となる関税などの撤廃を図り、その自由化を目的とする『関税と貿易に関する一般協定』が成立した。
2. マッカーシー＝プランにみられるように、世界各国に経済的援助を行った。
3. アメリカ合衆国は、ドルを基軸通貨とする固定相場制を撤廃し、変動相場制を採用した。
4. サンフランシスコ会議において、国際通貨基金や国際復興開発銀行の設立が決まった。

問12. 下線部(ス)について述べた文として、正しいものを次の1～4から選び、その番号をマークしなさい。

1. 1949年にイギリスから独立したインドネシア共和国の初代大統領には、スカルノが選ばれた。
2. 1956年、モロッコ・チュニジアがフランスから独立し、57年にはマンデラが指導者となりガーナが独立した。
3. エジプトは1952年にイギリスから独立し、翌53年にはナセルが大統領になった。
4. 1954年には、アメリカ合衆国がベトナム民主共和国とジュネーブ休戦協定を結び、ベトナムから撤退した。

Ⅱ 次のA～Fの各文の下線(1)～(4)には誤りが1箇所含まれている。誤りを含む箇所の番号をマークしなさい。

- A. 中国の春秋・戦国時代には諸子百家と呼ばれる多くの思想家や学派が登場した。儒家の祖で
(1)ある孔子の言行は論語としてまとめられ、その思想は孟子の性善説や孫子の性悪説など、戦国
(2)時代の儒家たちによって引き継がれた。墨子の墨家、老子・荘子の道家、商鞅・韓非・李斯た
(3)ちの法家などの思想は、その後の中国の社会思想に大きな影響を与えた。
(4)
- B. インドでは4世紀になるとヴァルナ朝がおこり、チャンドラクダ2世の頃に最も栄え、大王
(1)国となった。ヒンドゥー教が社会に定着するようになり、インド世界の独自性をつくりあげ、
(2)現在に至っている。この時代には、『マヌ法典』やサンスクリットの叙事詩『マハーバータ』
(3)『ラーマーヤナ』が作られた。また、天文学や数学なども発達して十進法よるゼロの概念もうみ
(4)だされた。
- C. ギリシャでは前8世紀に入ると、アクロポリスを中心にポリスという独特の社会のしくみが
(1)生まれた。各ポリスは独立した国家であり、奴隷制が経済的基盤となり、統一国家をつくるこ
(2)とはなかった。ポリスのなかでもスパルタがもっとも奴隷制度を発達させ、ポリスの住民は市
(3)民とこれに隷属する奴隷から構成された。市民には貴族と平民の区別があり、貴族は富裕層で
(4)国防の主力を担っていた。
- D. ディオクレティアヌス帝の後を引き継いだコンスタンティヌス帝は、330年首都を建設して
(1)コンスタンティノープルと改め、巨大な官僚制を築き上げた。コンスタンティヌス帝はこの官
僚制を土台にして改革を行ったが、属州の反乱が相次ぎ、さらにゲルマン人の大移動により国
(2)は混乱した。そこでテオドシウス帝は、帝国を東西に分割して2子に分けたが、ローマを首都
(3)とする東ローマ帝国は、さらなるゲルマン人の侵入により476年に滅亡した。
(4)
- E. オリエン特世界にはエジプト、リディア、新バビロニア、メディアの4王国が分立していた
(1)が、前6世紀半頃、イラン人のキュロス2世がアケメネス朝を建設して、リディアとメディア
(2)を征服した。その後、ダレイオス1世はエーゲ海北岸からガンジス川にいたるまでの帝国を建
(3)設し、再びオリエン特世界を統一した。しかし、前5世紀前半頃にペルシア戦争と呼ばれるギ
リシャとの戦いに敗れ、前330年アレクサンドロス大王によって征服された。
(4)

F. 中国では、秦・斉・燕・楚・韓・魏・趙の一国であった秦が、前 221 年始皇帝により統一された。⁽¹⁾始皇帝は全国に郡国制を敷き、貨幣や文字の統一を図り、焚書・坑儒による思想統制を強めるなどして中央集権化を推し進めた。⁽²⁾しかし、秦に征服された 6 国の地域の人々の反感が高まり、始皇帝が亡くなると各地で反乱がおき、秦は統一後わずか 15 年で滅亡した。⁽³⁾その後、劉邦が中国を統一して前漢と呼ばれる漢王朝をたてた。⁽⁴⁾

体育進学センター

III

次の文章を読み、下記の問いに答えなさい。

15 世紀後半から、ヨーロッパ諸国は海外進出に乗り出し、大航海時代の到来とともに世界の一体化が進んだ。ヨーロッパの商業は世界的な広がりを見せ、遠隔地貿易が盛んに行われるようになり、ヨーロッパの経済や社会は大きく変化した。

西ヨーロッパでは都市が発展し、14 世紀から 16 世紀にかけて、思想・芸術・科学などの領域でルネサンスと呼ばれる新しい動きが広まった。また、16 世紀には、カトリック教会を批判する動きがドイツからヨーロッパ各地に拡大した。

このような状況を背景にヨーロッパの国々は、今まで以上に強固なまとまりを形成するようになり、独立した（オ）として戦争と妥協を繰り返しながら国内の統一的支配を強めていった。スペイン・フランス・イギリスなどでは（キ）と呼ばれる国王を中心とした統治体制が生まれた。

問 1. 下線部(ア)について述べた文として、内容に誤りのあるものを次の 1～4 から選び、その番号をマークしなさい。

1. 羅針盤の改良や快速帆船の普及など、遠洋航海が技術的に可能になった。
2. ブラジル産の香辛料の取引は、スペインに莫大な利益をもたらした。
3. 1498 年、ヴァスコ＝ダ＝ガマがインド西岸のカリカットに到達した。
4. 1533 年、ピサロがインカ帝国を滅ぼし、首都クスコを破壊した。

問 2. 下線部(イ)について述べた文として、内容に誤りのあるものを次の 1～4 から選び、その番号をマークしなさい。

1. 新大陸から大量の銀が流入して、ヨーロッパの物価が 2～3 倍に上昇した。
2. 物価の騰貴は、固定地代の収入で生活する領主に大きな打撃を与えた。
3. 遠隔地貿易の中心は、大西洋から地中海にのぞむ国々へ移動した。
4. 東西の貿易も拡大し、東欧諸国では西欧諸国への穀物輸出が増加した。

問 3. 下線部(ウ)について述べた文として、内容に誤りのあるものを次の 1～4 から選び、その番号をマークしなさい。

1. この時期は人間性の自由と解放を求め、各人の個性を尊重しようとする文化が現れた。
2. コペルニクスは、古代の天文学に刺激されて地動説を唱え、天動説をとっていた教会の世界観に挑戦した。
3. マルティン＝ルターは、贖宥状(免罪符)を攻撃する九十五ヵ条の論題を発表した。
4. ナポリの金融財閥メディチ家やミラノ公、ローマ教皇などがルネサンスの保護者として知られている。

問 4. 下線部(エ)について述べた文として、内容に誤りのあるものを次の1～4から選び、その番号をマークしなさい。

1. マルティン＝ルターは、1521年に教皇から破門され、皇帝カール5世にヴォルムスの帝国議会に呼び出されたが、自説を撤回しなかった。
2. カルヴァンは、魂が救われるかどうかは、あらかじめ神によって決定されているという『予定説』を説いた。
3. 旧教徒(カトリック)と新教徒(プロテスタント)の争いは、1555年のアウクスブルク戦争に発展した。
4. イグナティウス＝ロヨラがフランシスコ＝ザビエルらとともにイエズズ会を結成し、海外にも宣教・教育活動を広げた。

問 5. 空欄(オ)と空欄(キ)に適する語句の組み合わせについて正しいものを1～4から選び、その番号をマークしなさい。なお、選択肢は空欄(オ)―空欄(キ)の順になっている。

1. 主権国家 ―― 絶対王政
2. 法治国家 ―― 絶対王政
3. 主権国家 ―― 啓蒙君主制
4. 法治国家 ―― 啓蒙君主制

問 6. 下線部(カ)について述べた文として、内容に誤りのあるものを次の1～4から選び、その番号をマークしなさい。

1. スペインはフェリペ2世のもとで全盛期を迎え、ポルトガルの海外植民地も支配下にいった。
2. フランスはアンリ4世に始まるブルボン王朝のもとで、王政の確立期を迎えた。
3. イギリスは王権の強化が進み、エリザベス1世のもとで、1588年にはスペインの無敵艦隊を破った。
4. 国王は貴族や聖職者たちに免税などの特権を与え、その下にいる人々を直接支配する統治体制を整えた。

IV

次の文を読み、下記の問いに答えなさい。

13世紀末、アナトリア西北部にトルコ人はオスマン帝国を建設し、バルカン半島に進出してアドリアノーブルを首都とした。1396年、(ア)はニコポリスの戦いでバルカン諸国とフランス・ドイツの連合軍を破った。1402年にはアナトリアに進出したティムールに敗れるが、その後国力を回復させ、1453年、オスマン帝国はコンスタンティノープルを攻略し、ビザンツ帝国を滅亡させた。オスマン帝国は、(エ)のもとで最盛期を迎え、北アフリカにも支配を拡大した。

16世紀になると、ティムールの子孫(オ)が北インドに進出し、1526年、パーニーバットの戦いでロディー朝の軍を破り、ムガル帝国の基礎を築いた。第3代皇帝(キ)は、支配階層の組織化を図り、マンサブダール制と呼ばれる制度を構築した。さらに、全国の土地を測量して税を徴収する制度を導入し、中央集権的な機構を整えた。

問 1. 空欄(ア)と空欄(エ)に適する人物の組み合わせについて、正しいものを次の1～4から選び、その番号をマークしなさい。なお、選択肢は空欄(ア)—空欄(エ)の順になっている。

1. バヤジット1世 — スレイマン1世
2. バヤジット1世 — スルタン
3. スレイマン1世 — スルタン
4. スレイマン1世 — バヤジット1世

問 2. 下線部(イ)について述べた文として、正しいものを次の1～4から選び、その番号をマークしなさい。

1. イル＝ハン国出身で、東西トルキスタンを統一した。
2. イラン人の世界とトルコ人の世界を統一し、トルコ＝イスラーム文化が発展した。
3. ジググラトを建設し、天文学や暦法を大いに発達させた。
4. アンカラ(アンゴラ)の戦いでオスマン軍を破り、さらにヨーロッパ遠征に出発したが、途中で病死した。

問 3. 下線部(ウ)について述べた文として、正しいものを次の1～4から選び、その番号をマークしなさい。

1. この帝国は東ヨーロッパと異なり、アラブ人の大移動によっても大きな打撃を受けず、商業と貨幣経済の繁栄をつづけた。
2. ユスティニアヌス大帝は、法学者を集めて編纂させた『ローマ法大全』やアルハンブラ宮殿の建立などに力を注いだ。
3. ドームとモザイク壁画を特色とするビザンツ様式の教会建築が有名で、ハギア＝ソフィア聖堂がその代表的な建物の一つである。
4. 13世紀後半には、第3回十字軍が首都コンスタンティノーブルを奪ってラテン帝国を建国するなど、国内は混乱した。

問 4. 空欄(オ)と空欄(キ)に適する人物の組み合わせについて、正しいものを次の1～4から選び、その番号をマークしなさい。なお、選択肢は空欄(オ)―空欄(キ)の順になっている。

1. アクバル ―― バーブル
2. アクバル ―― アッバース1世
3. バーブル ―― アッバース1世
4. バーブル ―― アクバル

問 5. 下線部(カ)について述べた文として、正しいものを次の1～4から選び、その番号をマークしなさい。

1. イスラーム教とヒンドゥー教の融合を図り、非ヒンドゥー教徒に課せられた人頭税(ジズヤ)を廃止した。
2. ムガル宮廷はイラク出身者やトルコ各地から画家を招き、多くの細密画を生み出した。
3. シャー＝ジャハーンは、インド・イスラーム様式が融合したタージ＝マハルなどの壮大な建築物を建設した。
4. 首都イスファハーンを建設して、美しいモスクや宮殿・庭園等で飾り、「イスファハーンは世界の半分」とうたわれた。

問 6. 下線部(ク)について述べた文として、正しいものを次の1～4から選び、その番号をマークしなさい。

1. 支配階層に等級づけをして、官位を与えた。
2. 支配階層に等級づけをして、金・銀を与えた。
3. 支配階層に等級づけをして、領土を与えた。
4. 支配階層に等級づけをして、税を与えた。

V 次の文を読み、下記の問いに答えなさい。

モンゴル高原では、12世紀初めに遼が滅びると、1206年に(ア)がモンゴル系・トルコ系の諸部族を統一して大モンゴル国を形成した。13世紀にはイラン・華北・東欧に侵攻し、モンゴルの支配は広大な領域に広がった。この領土の中にはイラン・イラク方面の(ウ)、中央アジアの(エ)、南ロシアの(オ)など、チンギス=ハンの子孫がおさめる国々がつくられた。

モンゴル帝国は、交通路の整備や安全の確保に努め、驛伝制と呼ばれる制度をつくり、陸路や海上の交易が発展した。また、文化や宗教などの面でも東西交流が盛んにおこなわれ、各地に大きな影響を与えた。

14世紀にはいると、モンゴル領土の各地で内紛がおこり、統治がゆらいだ。やがて、(ク)をはじめとして各地に反乱がおこり、第5代(ケ)によって中国全土を支配した元は、明によって首都大都を奪われた。

問 1. 空欄(ア)と空欄(ケ)に適する人物の組み合わせについて、正しいものを次の1～4から選び、その番号をマークしなさい。なお、選択肢は空欄(ア)一空欄(ケ)の順になっている。

1. チンギス=ハン —— フビライ
2. チンギス=ハン —— オゴタイ
3. フビライ —— チンギス=ハン
4. フビライ —— オゴタイ

問 2. 下線部(イ)について述べた文として、正しいものを次の1～4から選び、その番号をマークしなさい。

1. バトゥは、金を滅ぼし、モンゴル高原のカラコルムに都を建設した。
2. バトゥは、ホラズム=シャー朝を倒して、西北インドに侵入した。
3. フラグは、ワールシュタットの戦いで、ドイツ・ポーランド連合軍を破った。
4. フラグは、バグダードを占領して、アッバース朝を滅ぼした。

問 3. 空欄(ウ)と空欄(エ), 空欄(オ)に適する国名の組み合わせについて, 正しいものを次の1~4から選び, その番号をマークしなさい。なお, 選択肢は空欄(ウ)—空欄(エ)—空欄(オ)の順になっている。

1. チャガタイ=ハン国 —— キプチャク=ハン国 —— イル=ハン国
2. チャガタイ=ハン国 —— イル=ハン国 —— キプチャク=ハン国
3. イル=ハン国 —— チャガタイ=ハン国 —— キプチャク=ハン国
4. イル=ハン国 —— キプチャク=ハン国 —— チャガタイ=ハン国

問 4. 下線部(㍿)について述べた文として, 正しいものを次の1~4から選び, その番号をマークしなさい。

1. 幹線道路に駅をつくり, 各駅に南人を駐屯させ, 治安の確保につとめた。
2. 幹線道路に駅をつくり, 周辺の住民から馬・食料などを提供させた。
3. 幹線道路に駅をつくり, 周辺の住民から人頭税を徴収した。
4. 幹線道路に駅をつくり, 物資の交換をする漢人の市を開いた。

問 5. 下線部(㍿)について述べた文として, 正しいものを次の1~4から選び, その番号をマークしなさい。

1. フランスのルイ9世は, ルブルックを使節としてモンゴルに派遣した。
2. キプチャク=ハン国は, イスラーム教を国教として, ローマ教皇庁と使節の交換をおこなった。
3. モンゴル語を表記するバスパス文字は, ヒンドゥー教の教主パスパがつくった。
4. モロッコ人のマルコ=ポーロは元に仕え, 世界の記述をまとめた『東方見聞録』はヨーロッパやアメリカで反響を呼んだ。

問 6. 空欄(ク)に適する出来事について, 正しいものを次の1~4から選び, その番号をマークしなさい。

1. 土木の変
2. 紅巾の乱
3. 靖難の役
4. 靖康の変

I A. 第一次世界大戦・ロシア革命・ヴェルサイユ、ワシントン体制

問 1. 1. 日本の第一次世界大戦の参戦理由は日米同盟ではなく、

➡1902年に締結された日英同盟である。

3. アメリカは第一次世界大戦勃発当初は静観していたが、

➡ドイツの無制限潜水艦作戦を理由にドイツに宣戦した。

4. ドイツはフランスへ侵攻する際、スイスではなく、

➡中立を表明していたベルギーを侵犯した。

問 2. 1. バルカン半島ではパン＝ゲルマン主義とパン＝スラブ主義が

死の十字を形成していた。

➡ドイツとオーストリアは同じゲルマン系である

3. バルカン同盟はロシアのバルカン地域への南下政策の一環で創られた。

➡その構成国は…セルビア・モンテネグロ・ブルガリア・ギリシアである。

4. 第3インターナショナルの成立は第一次世界大戦後の1919年で、

モ ス ク

第1インターナショナル	1864 ロンドン	
第2インターナショナル	1889 パリ	ドイツ社会民主党
第3インターナショナル (コミンテルン)	1919 モスクワ	ロシア共産党

本部は

ワである。

問 3. 2. 平和に関する布告は三月革命ではなく、十一月革命後のボリシェヴィキが

全交戦国に向けて発表したもの

3. コミンフォルムは第二次世界大戦後、米ソ冷戦の対立の中で形成されたもの。

時期が違う。

4. 四月テーゼを発表したのはケレンスキーではなく、レーニンである。

ケレンスキーは臨時政府の首班であり、ボリシェヴィキの指導者ではない。

問 4. 1. 第一次世界大戦後のアメリカは債務国から債権国へとなり、世界経済の中心となった。また、低関税政策では

なく、共和党政権による高関税政策を実施した。

2. 第一次世界大戦後のヴェルサイユ体制の前半においては確かに国際協調体制が進展し、一時的な平和がもたらされた。しかし、アメリカを震源とする世界経済大恐慌が1929年に発生して以降、ファシズム政権が台頭し始めた。

4. アメリカはウィルソンが十四カ条を発表し戦後の恒久的な国際平和機関の設立を唱っていたが、特に上院の共和党がその批准に難色を示し、終始加盟しなかった。

問 5. 1. 第一次世界大戦後、戦勝国は敗戦国と 1 か国 1 か国個別に条約を結んだ。

ヴェルサイユ条約	対ドイツ
サン＝ジェルマン条約	対オーストリア
ヌイイ条約	対ブルガリア
トリアノン条約	対ハンガリー
ゼーヴル条約	対オスマン帝国

2. 十四か条とヴェルサイユ条約は別物である。

問 6. ワシントン会議（1921～22）を開催したのはハーディング（共和党）である。

結果、以下の 3 つの条約が締結された。

①四カ国条約 ➡ 日英同盟の破棄
②九カ国条約 ➡ 石井＝ライシグ協定の破棄
③海軍軍備制限条約 ➡ 日本の中国政策の後退

問 7. 1. ワシントン会議にはロシアは参加していない。

➡ 対ソ干渉戦争中である。

2. ワシントン会議で締結された条約は上記問 6 の表を参照。

➡ パリ不戦条約（ケロッグ＝ブリアン協定）は 1928 年である。

4. 上記問 6 の表を参照。

B. 冷戦体制下の米ソと第三勢力

問 8. 1. 1943 年のカイロ会談には中国の指導者は参加しているが、

➡ 毛沢東ではなく、蔣介石である。

3. ヤルタ協定は 1945 年。

4. ポツダム会談の米側の出席者はフランクリン＝ローズヴェルトではなく、トルーマンである。

※以下に第二次世界大戦期における連合国の戦後処理会談の表をまとめたので、

必ず覚えておくこと。 ➡ 必須

《第二次世界大戦中の諸会談》

大西洋上会談 (1941.8)	米：F ルーズヴェルト，英：チャーチル ●対独戦争とソ連援助問題を協議，戦争目的を確認 →大西洋憲章（全 8 ヲ条） …領土不拡大・領土不変更・民族自決・貿易の自由・海洋の自由・ 労働と社会保障・軍備縮小・平和機構の再建 →連合軍共同宣言（1942.1）に継承 …米英ソなど 26 ヲ国が反ファシズムの戦いを組織
カサブランカ会談 (1943.1)	米：F ルーズヴェルト，英：チャーチル ●北アフリカ戦線とイタリア上陸作戦を討議 →シチリア占領（43.7）⇒ムッソリーニ失脚 ⇒バドリオ政権成立、無条件降伏 ⇒独軍侵入し北部占領
カイロ会談 (1943.11)	米：F ルーズヴェルト，英：チャーチル，中：蔣介石 ●日本の領土の処理を討議 →カイロ宣言…日本の太平洋諸島の放棄，台湾返還，朝鮮独立， 無条件降伏まで戦うことを宣言
テヘラン会談 (1943.11)	米：F ルーズヴェルト，英：チャーチル，ソ：スターリン ●第二戦線の形成を討議，ソ連の対日参戦を約束 →ノルマンディー上陸作戦を決行⇒パリ解放
ヤルタ会談 (1945.2)	米：F ルーズヴェルト，英：チャーチル，ソ：スターリン ●対独戦後処理を討議 →ヤルタ協定 …独の無条件降伏と戦後独の 4 ヲ国の共同管理の方式を決定， 国際連合結成会議の招集，5 大国の拒否権の行使の承認 …秘密条項：ソ連の対日参戦（独降伏後 3 ヲ月以内）， ソ連の樺太南部・千島列島の取得， モンゴル人民共和国の現状維持
ポツダム会談 (1945.7)	米：トルーマン，英：チャーチル⇒アトリー，ソ：スターリン ●対独戦後処理，対日戦後処理の具体案を協議 →ポツダム宣言…米英中の対日共同宣言；日本に無条件降伏を勧告 ⇒8/8 にソ連が参加 ⇒8/14 に御前会議で受諾を決定

問 9. 1. 1945 年のサンフランシスコ会議で採択されたのは国際連合憲章である。

問 10. 1. 3. 4. ➡アメリカの対ソ共産主義包囲網

問 11. 2. 第二次世界大戦後のアメリカのヨーロッパへの経済援助は、

➡マーシャル＝プラン。

4. 国際通貨基金や国際復興開発銀行の設立決定は、

➡ブレトンウッズ会議においてである。

Ⅱ 古代中国・インド・ギリシア・ローマ・オリエント史

A. 性悪説 ➡ 荀子

B. ヴァルダナ朝の成立は 606 年。4 世紀にはグプタ朝があった。

D. ローマ帝国は 395 年にテオドシウス帝が崩御した後、東西に分裂したが、

➡ローマを都としたのは西ローマ帝国である。

➡東ローマ帝国の都はコンスタンティノープル。

E. 最盛期を築いたダレイオス 1 世期の領土の東端はインダス川流域である。

F. 秦の始皇帝期の制度は郡県制である。郡国制は漢の時代。

Ⅲ 大航海時代と絶対王政

問 1. 2. 香辛料の取引をしたのは東南アジアとである。

問 2. 3. 新大陸の「発見」はヨーロッパの貿易構造を激変させた。それまで貿易の主役は地中海だったが、大西洋へと移行した。 ➡これを商業革命という。

問 3. 金融財閥メディチ家はフィレンツェの富豪である。

問 4. ルターが起こした 1517 年に宗教改革は

➡1555 年のアウグスブルクの和議で一応の解決をみた。

Ⅳ オスマン帝国・ティムール帝国・ムガル帝国

問 2. 3. ジググラトは古代オリエントにおける「聖塔」。

4. 1402 年アンカラの戦いでオスマン軍を破ったが、西進せず中国方面に行った。

➡明への遠征の途上、オトラルで病死した。

問 3. 1. アラブ人ではなく、4 世紀のゲルマン民族の移動による打撃を西欧よりは

受けなかった。

2. アルハンブラ宮殿は、ナスル朝の王宮。

4. 第 3 回ではなく第 4 回である。第 4 回十字軍はインノケンティウス 3 世の提唱で始まったが脱線してしまった。ヴェネツィア商人は商敵であるコンスタンティノープル商人が邪魔であったので、第 4 回十字軍に賄賂を渡し、ビザンツ帝国へ向かわせた。結果、ビザンツ帝国は滅び、ラテン帝国が成立した。

問 5. 1. ジズヤは非イスラム教徒に課した人頭税。

4. イスファハーンはサファヴィー朝の都。

V モンゴル帝国

問 2. 金を滅ぼしたのはオゴタイ。ホラズムを倒したのはチンギス。ワールシュタットの戦いでヨーロッパ遠征をしたのはバトゥー。ここで重要なのは、モンゴル帝国の主要人物がどこに遠征したのかということ。図説と共に覚えよう。

問 3. 4 ハン国も図説の地図を見て、その支配領域を覚えよう。

問 5. 3. パスパ文字はチベット仏教の教主が作成した。

問 6. 中国各王朝末期にはたいがい反乱が起こる。王朝ごとにまとめて覚えておきたい。

その際、図説をフルに活用しよう。

体育進学センター